

電気自動車は環境にやさしいといわれているのになぜあまり使われていないのか、疑問に思ったので調べました。

メリット

① 音が静か

エンジンを稼働させずバッテリーとモーターのみの走行。



② 自然災害などで停電した際に蓄電池として活用できる

非常時も電気自動車を非常電源として活用できる。

③★ 走行時にCO₂を排出しない

走行時、ガソリンの代わりに電気で走るためCO₂を排出しない。

参考：ソフトバンク

デメリット

①★ 販売価格が高い

ガソリン車と比べると価格が高い傾向にある。

② 充電に時間がかかる

フル充電に数十分から数時間かかる。

③ 航続距離が短い

ガソリン車と比べると航続距離が短い傾向にある。

参考：スマートでんきコラム

東京から大阪までに
3回もの充電が必要



★ ランニングコストが安く、補助金がある！

➡ ① メンテナンス費用と② 燃料費のこと

① 部品が少なく、エンジンオイル交換がない

② 燃料費がガソリン車より **2倍以上** も安い

また、購入時に国と自治体から補助金をもらうことができる（右図参照）



2021年度の国からの補助金（1台あたり）

CEV補助金	参考：日産	42万
環境省の補助金		60万
経済産業省の補助金		42万

★ 製造時は？車を製造するにはCO₂を排出するのではないか

電気自動車に必要なバッテリーパックを作るために大量のCO₂を排出する。

よって、電気自動車を作る過程でガソリン車より多くのCO₂を排出する。

また、電力の大半は火力発電によってまかなわれている。

結果的に、ガソリン車より電気自動車の方が多くのCO₂を排出する。

ガソリン車の
約**15%以上**



CO₂



走行時はCO₂を排出しないが、製造時に多くのCO₂を排出するため、電力を風力発電や太陽光などの再生可能エネルギーで発電することが求められている。

